

栃木初の写真師

片岡如松

じょしょう

一時代を写した写真と絵葉書

2019年 **11.12日** - **12.22日**

- 開館時間＝午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで） ●休館日＝毎週月曜日
- 観覧料＝一般（高校生以上）／500円（300円）、中学生以下は無料 ※0内は20名以上の団体割引料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名は無料
- 主催＝栃木市、栃木市教育委員会、とちぎ蔵の街美術館
- 後援＝朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、栃木ケーブルテレビ、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送

とちぎ蔵の街美術館

Tochigi Kuranomachi Museum of Art

〒328-0015 栃木県栃木市万町3番23号
TEL：0282-20-8228 FAX：0282-20-8227
<https://www.city.tochigi.lg.jp/site/museum/>

上 栃木町の大通り 明治10年頃 片岡如松撮影 片岡写真館蔵
下 巴道川と幸栄橋 明治初期 片岡如松撮影 片岡写真館蔵

片岡如松(1843~1919)は、旧日光輪王寺宮御家来衆の武士の家に生まれ、日本の職業写真の祖とされる下岡蓮杖の弟子・横山松三郎と運命的な出会いを果たすと、明治3年(1870)(一説に明治2年)、栃木県初となる写真館を日光で創業しました。明治5年(1872)に栃木町に移ってから、150年にわたり栃木の町や人々を撮影してきた片岡写真館は、現在も営業を続け、歴史の記憶をとどめています。

写真ならびに印刷の技術の向上と深く関わりのある絵葉書は、日本で明治33年(1900)に私製葉書が認可されると、全国的に次々と発行されるようになります。名所旧跡、戦争・災害といった時事的なものから、学校の運動会などの行事記念として制作されることもあった絵葉書ですが、栃木では片岡写真館や地元の書店が関わって、数多くの絵葉書が発行されました。

片岡如松の没後100年にあたる本年、如松と、その息子・武が写した写真や、明治期から昭和にかけての絵葉書を通して、近代の栃木を振り返ります。



日光・寂光の滝 明治初期 片岡如松撮影 片岡写真館蔵



片岡久米(のちの如松) 明治初年 横山松三郎撮影 片岡写真館蔵



如松が使用した撮影機材運搬用の笥 片岡写真館蔵



片岡武 明治29年(1896) 片岡如松撮影 片岡写真館蔵



武が使用した暗箱カメラ 片岡写真館蔵



栃木県栃木市四町御幸橋(水没大日一十月八年三十四新橋) 行發店書井出 (影撮岡片) 片岡武撮影 明治43年(1910) 個人蔵



旧制栃木中学校運動会城塞模型絵葉書 片岡武撮影 明治43年(1910) 個人蔵

イベント

①ワークショップ「100年前のカメラを体験してみよう」

片岡写真館で実際に使っていた暗箱カメラで、当時の撮影の様子を体験します。

日時：12月1日(日) 午後2時～(2時間程度)

場所：とちぎ蔵の街観光館2階多目的ホール

講師：片岡惟光氏(片岡写真館4代目)

定員：10名(11月6日(水)より電話申込先着順 参加費無料)

②担当学芸員によるギャラリートーク

11月16日(土)・12月8日(日)・12月22日(日)

◆次回展覧会のご案内◆

収藏品展
(仮称)コレクターの競演—
葵生川コレクションと石井コレクション
同時開催 新収藏品展
2020年1月11日(土)～3月22日(日)

【交通案内】

- 電車=JR両毛線栃木駅、東武日光線栃木駅から徒歩15分
- バス=栃木駅より市街地北詰循環線(東回り)等観光協会前下車、徒歩3分
- 車=東北自動車道、栃木ICから10分 ■駐車場=コエド市場南、大通り沿いの「蔵の街第1駐車場」をご利用ください。

とちぎ蔵の街美術館

Tochigi Kuranomachi Museum of Art

〒328-0015 栃木県栃木市万町3番23号

TEL: 0282-20-8228 FAX: 0282-20-8227

<https://www.city.tochigi.lg.jp/site/museum/>

